

## 伊豆中央道・修善寺道路に関する説明会（伊豆の国市）

■日時 令和5年3月28日（火）19時～21時20分

■場所 長岡総合会館 大ホール（伊豆の国市古奈255）

### ■質疑応答内容

#### 質問 1

伊豆中央道と修善寺道路にETCXを導入した時、有料期間延長の考えがあったのか。

#### 回答 1

ETCX導入当時点では、有料期間延長の考えはありませんでした。

#### 質問 2

伊豆中央道、修善寺道路の償還金額の残りはいくらか。

#### 回答 2

令和4年度末で、両道路の未償還額は約25億円となります。

#### 質問 3

本日の説明内容が6月県議会で決まるというのは事実か。

#### 回答 3

6月県議会において、伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限延長と、国道414号静浦バイパスの新規有料道路事業の議案を提出する方針です。

#### 質問 4

国道136号横瀬交差点の渋滞を解消するには修善寺道路の無料化が必要である。

#### 回答 4

横瀬交差点の渋滞対策として、これまで信号時間の調整や、県道の交差点改良を実施してきましたが、渋滞の解消には至っておりません。渋滞緩和に向け、今後、修善寺橋の改良の検討に着手してまいります。

#### 質問 5

函南町議会の意見書はどうなったのか。町議会のYouTubeは見えていただけか。

#### 回答 5

函南町議会の意見書は受領しました。また、町議会のYouTubeも確認しております。

#### 質問 6

伊豆中央道と修善寺道路を無料化すると渋滞するという合理的な理由が分からない。

#### 回答 6

伊豆中央道と修善寺道路を無料化した場合、国道136号や生活道路の通行車両が、伊豆中央道や修善寺道路に流入し、交通量が2倍となり渋滞の発生頻度が増えることが考えられます。渋滞が発生した場合、渋滞を回避する車両が生活道路に流入することになり、生活道路が混雑することになると考えています。

質問 7

交通量が増えた段階で、4車線にするなど改善策を考えればよいのではないかと。

回答 7

東駿河湾環状道路の大場・函南 IC 以南につきましては、完成 2 車線で整備しております。このため、修善寺道路と伊豆中央道を 4 車線にしても、その先が 2 車線なので効果が見込めないと考えています。

質問 8

伊豆縦貫自動車道の天城峠道路の完成目標年度はいつか。

回答 8

国土交通省の事業であり、完成年度を言及することは難しいです。

質問 9

今後、どのように地元と合意形成を図っていくのか。どのようになったら合意形成が図られたことになるのか。

回答 9

県の方針につきまして御理解いただきたいと考えています。

質問 10

平成 26 年当時の無料化の約束は守られるべきと考えるがどうか。

回答 10

当時の説明に基づき現在の料金徴収期限があり、無料化の約束は重いものだと考えています。このため、今回の方針については、庁内で度重なる協議をしてきました。

この中で、伊豆中央道と修善寺道路の料金徴収期限を延長し、伊豆の道路整備を進めていくことが、伊豆地域にとって最適の選択であるとの判断に至りました。

質問 11

平成 26 年当時、有料期間延長について、地元とどのように合意を得たのか。

回答 11

説明会の記録において、事業を進めることに異議がないことを確認しています。

質問 12

高速道路の社会実験が実施された平成 22 年に交通量が 2 倍になると分かったのに、有料期間延長の話をなぜ今するのか。

回答 12

東駿河湾環状道路等周辺の道路整備などにより、伊豆中央道と修善寺道路の令和 3 年の交通量は、平成 22 年の交通量の約 2 倍に増えております。

この状況において無料化した場合の対策を検討した結果、料金徴収期限を延長することが最適であると判断いたしました。

質問 13

40年後、伊豆縦貫自動車道の函南～修善寺間は整備されているのか。

回答 13

御指摘の区間は、現在、構想区間であるため、開通年度を見通すことは難しいと考えています。

質問 14

伊豆中央道と修善寺道路の収入を国道 414 号静浦バイパスの整備に充当していく予定なのか。

回答 14

国道 414 号静浦バイパスに新規有料道路事業を導入する方針としています。現時点では、伊豆中央道と修善寺道路の料金収入を静浦バイパスに充当することはできませんが、今後の情勢を踏まえ、伊豆地域の道路にとって最適となるよう、適切に判断していきたいと考えています。

質問 15

40年以内に伊豆縦貫自動車道が全線開通したとしても、引き続き、両道路は有料道路にする予定なのか。

回答 15

伊豆縦貫自動車道が全線整備される見通しが立てば、その際、伊豆地域全体の道路網として、両道路のあり方を検討していきたいと考えています。

質問 16

無料化の社会実験は実施したのか。また、実施する予定はあるのか。

回答 16

無料化の社会実験は実施しておりません。高速道路 50 箇所社会実験から、交通量が約 2 倍になるというデータがあることから、実施する予定はありません。

質問 17

伊豆中央道と修善寺道路の料金収入を修繕費用に充当するとの話であったが、設計段階で分かっていたのではないのか。

回答 17

平成 24 年の中央自動車道笹子トンネルの事故により道路構造物のメンテナンスが重要視され、近接目視が義務付けられました。近接目視を行うことで修繕が必要な箇所が判明し、修繕費用が増加しております。今後、莫大な修繕費用が必要となると見込んでおります。

質問 18

生活道路への流入対策の実施をお願いします。通学路の安全確保をしてほしい。

回答 18

生活道路への流入対策については、関係する市町や学校と協議しながら検討していきます。

質問 19

ETC 導入で渋滞が緩和できる。通勤の人を安くするなどの割引をしてほしい。

回答 19

ETC の導入を検討しており、利用回数の多い地元配慮した割引制度を新たに導入する予定です。

質問 20

伊豆中央道と修善寺道路の有料期間延長に、なぜ国道 414 号静浦バイパスの整備が関係するのか。

回答 20

伊豆北部地域の交通の円滑化として、両道路の料金徴収期限延長と合わせ、国道 414 号静浦バイパスの整備に有料道路事業を導入し、整備を進めていく方針です。

質問 21

料金所の通過時間のデータはあるのか。渋滞とどのように関係しているのか。

回答 21

料金所の通過時間は、回数券で 4 秒、現金(釣りなし)5 秒、ETCX6 秒、現金(釣りあり)10 秒というデータがあります。料金所が渋滞発生最大の要因ということではなく、両道路の交通量が多いことが渋滞を発生させている要因と考えています。

質問 22

40 年後に無料化しても伊豆中央道と修善寺道路は同じ交通量になるのか。

回答 22

今後も伊豆地域の道路整備を進めていく予定であり、両道路の交通量は現在と同じにはならないと考えております。

質問 23

料金所がなくなることが、以前の検討会の結果ではないか。

回答 23

平成 24 年に開催した伊豆地域の道路整備のあり方検討会の議論は承知しております。今回の方針については、その後の交通量の増加などを受け、庁内で度重なる協議をしてきた中で、料金徴収期限の延長が最適であると判断したものです。

質問 24

使用回数が少ない地元への配慮は。

回答 24

地元の方々に配慮した多頻度利用者への割引の適用を考えています。

質問 25

今回の説明会の状況で同意を得たと考えているのか。

回答 25

この説明会で合意を得たという考えは持っていませんが、県の方針を御理解いただきたいと考えています。

質問 26

伊豆地域の各市町の意見書が揃っても、有料期間を延長するのか。

回答 26

県の方針を説明し、御理解いただきたいと考えています。

質問 27

高速道路の無料化社会実験は、都市部と地方部で傾向が違うのではないか。

回答 27

高速道路の無料化社会実験は、都市部、地方部を含む全国 50 箇所で行っているため、同様の傾向となると想定しています。

質問 28

交通量が渋滞に影響しているデータはあるのか。

回答 28

現状においても、交通量が多い時間帯等で渋滞が発生しております。無料化で交通量が増えることで、渋滞の回数、頻度が更に増えると考えています。

質問 29

料金所の通過に時間がかかり、渋滞が発生しているのではないか。

回答 29

料金所でスピードは低下しますが、交通量が増えれば、接続道路との信号交差点等で渋滞が発生し本線に影響を与えます。

料金所でのスピードの低下は、ETC 導入により改善していきたいと考えています。

質問 30

ETC の導入時期は。

回答 30

ETC の導入にあたっては、高速道路会社との協議を進め基本設計等を行うこととなります。トラブルが発生した場合の対応なども協議していく必要がありますので、現時点で ETC 導入の時期は未定です。

質問 31

函南町で説明会を開催しないのか。

回答 31

3 月 22 日と本日（28 日）の説明会の意見を踏まえ、今後、調整していきます。

質問 32

伊豆中央道と修善寺道路の有料期間延長により、人口流出が考えられる。これについてはどう考えるのか。

回答 32

人口減少の中では、交流人口を増やすことが重要であり、そのためには両道路の高速性や定時性を確保する必要があると考えています。このため、料金徴収期限を延長し、その間に伊豆地域の道路網をしっかりと構築していきたいと考えております。

質問 33

観光者の帰宅をスムーズにさせるため、伊豆中央道の上り方面のみ無料化できないか。

回答 33

料金所があることが、観光者の帰宅時間帯での渋滞発生原因ではなく、伊豆中央道の交通量が多いことが理由だと考えます。不足している道路の整備をしっかりと行っていきたいと考えております。

質問 34

伊豆半島の道路ネットワークを考える必要がある。一部だけ整備してもどこかで渋滞してしまう。

回答 34

伊豆地域は地形的に道路を整備するのに費用がかかるため、効率的に整備していきたいと考えております。

質問 35

無料化すると交通量が2倍になるという説明は、どの地域からの交通が増えると予想しているのか。

回答 35

伊豆中央道・修善寺道路に並行する国道や県道から交通が転換し、交通量が増加すると考えています。また、圏央道など広域道路ネットワークの進展により、観光需要などによる交通量の増加も要因として考えられます。

質問 36

渋滞が悪化すると何が困るのか。

回答 36

観光面においては、快適に移動でき、移動時間が計算できることが重要であると考えています。地域の方々にとっては、渋滞を緩和したり、通過交通と生活交通を分散したりすることが大事であると考えています。

質問 37

ETCの割引について、100回での割引率はいくつか。

回答 37

ETCの割引については、100回で5割引になるよう検討しています。